

＜ 運営推進会議における評価 ＞

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 北海長正会	事業所名	北広島複合型サービス四恩園
所在地	(〒 061-1137) 北広島市緑陽町 1 丁目 2 番地		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

認知症の方や医療ニーズの高い要介護者の在宅生活を支える「介護と医療の包括サービス」です。

住み慣れた地域での生活を継続することができるように「通い」を中心にして利用者の状態や希望を踏まえ、「訪問」「泊まり」「看護」サービスを一体的に提供します。なじみの介護・看護職員が個別性の高いサービスを提供し、現場に直結した相談援助で、お客様とご家族の暮らしを支えます。医療機関やご家族と一緒に、看取りの支援も行います。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 12 月 2 日	従業者等自己評価 実施人数	(3) 人 ※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	-----------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026 年 2 月 4 日	出席人数 (合計)	(8) 人 ※自事業所職員を含む
-----	-------------------	-----------	--------------------

出席者（内訳）	<input type="checkbox"/> 自事業所職員（ 3 人） <input type="checkbox"/> 市町村職員（ 1 人） <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員（ 1 人） <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者（ 2 人）
	<input type="checkbox"/> 利用者（ ____人） <input type="checkbox"/> 利用者の家族（ 1 人） <input type="checkbox"/> 知見を有する者（ ____人） <input type="checkbox"/> その他（ ____人）

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 （評価項目 1～10）	・介護福祉士や介護支援専門員など一つの資格取得を目指し、お客様や制度理解を深め、よりよいサービス提供ができるよう努めていく。	・職員 1 名が実務者研修を受講し資格取得。今後介護福祉士試験に挑戦予定。介護支援専門員には 2 名が挑戦したが合格ならず。継続した知識補充に努めたい。	・より質の高いサービス提供が出来るよう、継続し実践してほしいとのご意見をいただく。
II. サービス提供等の評価 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 （評価項目 11～27）	・お客様やご家族様に喜んでいただけるよう、引き続き丁寧な三大ケアを実践していくとともに、お客様一人ひとりに対応した認知症ケアを	・月一度開催している課内職員全体研修において、神部施設長からの虐待防止をはじめ、皆木課長から認知症ケア、玉邑課長から腰	・転倒や誤薬といった事故やヒヤリハット報告をゼロに近づけることができるよう、職員一丸となりサービスを提供していきたい。

		職員全員ができるよう、取り組んでいきたい。	痛予防、西野課長から食中毒予防について 講話いただいた。より良いケアに努めていき たい。	
2. 多機関・多 職種との連携 (評価項目 28 ~31)	・with コロナという時代。継続した消毒や換気 を徹底し行ないながら、コロナ前の活動を再開 していくことができるように、他機関、多職種と も積極的に連携していきたい。	・日常から手洗い・消毒・換気に努めた。また 感染対策を講じつつ、地域や法人内のお祭 り、ともにで開催される行事に参加。お客様に 楽しんでいただくことができた。	・これからもお客様に喜んでいただけるように、 他機関・多職種とも報告、連絡、相談を密に 実施し連携を深めていきたい。	
3. 誰でも安心 して暮らせるまち づくりへの参画 (評価項目 32 ~41)	・市内で唯一の看護小規模多機能事業所で あるが、認知度が低い現状である。完成した パンフレットを活用しつつ、地道な周知活動を 継続していきたい。	・パンフレットを活用し、ご利用を検討されてい るお客様やご家族様、市内の居宅介護支援 事業所や医療機関に事業所紹介をさせてい ただいた。	・よりご相談いただける事業所となれるよう、居 宅介護支援事業所や医療機関への定期的 な訪問なども実施していきたい。	

<p>Ⅲ. 結果評価</p> <p>(評価項目 42～44)</p>	<p>・感染症の拡大から、一時通所事業を停止することがあった。お客様に安心してサービスをご利用いただけるよう、今後もチーム力を意識しながら、お客様の役に立てるサービスを提供していきたい。</p>	<p>・常日頃から丁寧な関りを意識し様々な対応をさせていただいている。お客様、ご家族様に安心してご利用いただける事業所であり続けられるよう、日々精進していきたい。</p>	<p>・「信頼は接し方から」丁寧なケアがお客様の笑顔に繋がることを職員全員が十分に理解し、お客様・ご家族様と関わってきたい。</p>
------------------------------------	---	---	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価	(評価項目 1～10)	<p>・各項目について、自己評価内容を追加説明する。</p> <p>・概ねよくできているとの評価。</p>	<p>・引き続き、介護福祉士や介護支援専門員など、一つ先の資格取得を目指すなどお客様や制度の理解を深めるとともに、来年度より実施予定の動画研修を活用しながら、よりよいサービス提供ができるよう努めていく。</p>
Ⅱ. サービス提供等	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供	<p>・各項目について、自己評価内容を追加説明する。</p> <p>・概ねよくできているとの評価。</p>	<p>・お客様が安心・安全に生活できるよう、丁寧な三大ケア(食事・入浴・排泄)を実践していくとともに、お客様一人ひとりに対応した認知症ケア</p>

の 評 価	(評価項目 11 ～27)		を職員全員が提供できるよう、継続して取り組んでいく。
	2. 多機関・多 職種との連携 (評価項目 28 ～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目について、自己評価内容を追加説明する。 ・概ねよくできているとの評価。 ・地域行事や法人行事、地域交流ホームともにで開かれた催事に多く参加することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下火となりつつあるコロナ感染症ではあるが、油断することなく、徹底した消毒や換気の実施、またお客様が感染した際の速やかな対策から拡大防止に努める。
	3. 誰でも安心 して暮らせるまち づくりへの参画 (評価項目 32 ～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目について、自己評価内容を追加説明する。 ・概ねよくできているとの評価。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で唯一の看護小規模多機能事業所である。地域に求められる資源として引き続き地道な周知活動をしていく。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目について、自己評価内容を追加説明する。 ・概ねよくできているとの評価。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお客様に安心してサービスをご利用いただけるよう、チーム力を意識しながら、お客様の役に立てるサービスを提供していく。 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○				・自己評価の通り。 [具体的な状況・取組内容] 法人の基本理念、倫理綱領に網羅されており、事業所パンフレットに盛り込んでいる。作成したパンフレットを用い、事業所の紹介や周知に活用している。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の	○				・自己評価の通り。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏ま

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 人事考課では法人基本理念、倫理綱領に基づいた評価を実施している。今後も事業所の特徴を活かし、より良いサービスを提供していきたい。					えた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○			・自己評価の通り。継続して実務者研修や介護福祉士、介護支援専門員の受験支援や情報提供を実施している。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 法人として人材育成考課システムを実施。定期的に職員面談も実施。1名実務者研修を受講。2名介護支援専門員試験に挑戦した。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
							は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会 を育成計画等に基づいて確保 するなど、職員の専門技術の 向上のための日常業務以外で の機会を確保している	○				・自己評価の通り。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務 以外での機会の確保」について、充 足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専	○				・自己評価の通り。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	門員の間で、職員が相互に情報共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 確保されている。複合型サービス職員全体会議、ミーティングや申し送り、申し送りノートなどを活用している。					評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なオンラインファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	○				・自己評価の通り。 ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 反映させている。会議録は職員に回覧。議事・会議録はいつでも誰でも閲覧できるよう工夫。ご意見を真摯に受け止め励みとし、サービス提供に努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くこと できる就業環境の整備に努め てい る	○				・自己評価の通り。時代の流 れ に合わせた規定整備に努め てい る。	✓ 「職員が、安心して働くこと のできる就 業環境」の充足度を評価しま す ✓ 例えば、「職員の能力向上の支 援」、 「精神的な負担の軽減のため の支 援」、 「労働時間への配慮」などが考 え られます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随 時更新を行うとともに、必要 に 応じて職員間で迅速に共有で	○				・自己評価の通り。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員 間で迅 速に共有 するための工夫」の2つの 視 点から、充足度を評価しま す

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	きるよう工夫されている	後の対応について協議し、統一したケアの実践ができるよう取り組んでいる。また継続してサ高住や訪問看護など他事業所との連携も密に行った。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○				・自己評価の通り。事故、ヒヤリハットをできる限りゼロに近づけることができるよう今後も取り組んでいく。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられ
		[具体的な状況・取組内容] 転倒や誤薬といったヒヤリハット、事故報告から、どうすれば防ぐことができたのかを検証し、今後の対応を職員全員が把握し実践できるよう取り組んでいる。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
							ます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	○				・自己評価の通り。災害時においても事業を継続できるよう、日頃からの備えを心掛けている。	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を 含む、利用者等の 24 時間の 暮らし全体に着目したアッセ メントが行われている	○				・自己評価の通り。 [具体的な状況・取組内容] 行なっている。日中の通所サービスだけではなく、宿泊サービスのご利用やご家族様からご自宅での生活の様子を聞き取り、一日を通じた生活サイクルからアセスメントを実施している。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの 視点から実施したアセスメント の結果が、両職種の間で共有	○				・自己評価の通り。 [具体的な状況・取組内容] 共有されている。専門職としての特性を十分に	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	されている					理解し、ミーティングや会議の場において意見 を出し合っている。お客様にとってより良い生活 とは何かという視点を持ち、お客様への支援を 実施していきたい。	✓ 介護・看護の両面から行われたアセ スメントの結果は、その後のつき合わ せなどを通じて、両職種で共有される ことが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを 把握するとともに、その目標の 達成に向けた計画が作成され ている	○				・自己評価の通り。 [具体的な状況・取組内容] 行っている。ケアプランに基づき、個別に援助 計画を作成し、お客様・ご家族様に説明・同 意いただいている。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作 成」について、充足度を評価し利用 者のみでなく、家族等の考えを適切 に把握するとともに、その考えを含め た計画を作成することは重要であると いえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限	○					✓ 「利用者の有する能力を活かした、心

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 在宅に戻ってからも継続した動作ができるよう、自立支援を意識したケアの提供に努めている。				・自己評価の通り。リハビリの専門職が在籍していないため、法人作業療法士と連携し、評価の実施や福祉用具の選定、生活空間環境整備など、お客様の生活の質を高められるよう努めている。	身機能の維持回復を重視した計画の作成について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の	○				・自己評価の通り。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	予測と、リスク管理を踏まえた 計画が作成されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ヒヤリハットや事故報告書を作成し、同じミス を犯さないように、そして次の支援に活かせるよ う取り組んでいる。					2つの視点から、充足度を評価しま す ✓ 介護・看護が一体的に提供される看 護小規模多機能型居宅介護におい ては、特に看護職による予後予測な どを踏まえて計画を作成することが重 要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的な アセスメントにより、利用者等の 状況変化を早期に把握し、計	○				・自己評価の通り。ちょっとした 気づきであっても、こまめにご家 族様への報告を行っている。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反 映」の2つの視点から、充足度を評 価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> お客様の心身状態変化に合わせ、ご家族様 とも報告連絡相談をし、臨機応変なサービス					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	画への適宜反映が行われている	調整・提供を心掛けている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	○				・自己評価の通り。ご家族様とお会いする機会も多くあり、相談しやすい環境作りに努めている。	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
② 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標	○				・自己評価の通り。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	の達成状況等について、主治 医など、事業所内外を含む関 係多職種と情報が共有されて いる	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 定期的に書面での報告、病状変化について 緊急時は電話連絡、往診時に口頭での報 告、それ以外は受診時に手紙を用意するな ど、主治医や医療機関との連携に努めてい る。					成状況等の事業所内外を含む関係 多職種との情報共有」について、充 足度を評価します
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの 専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われ ている	○				・自己評価の通り。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かし た役割分担」について、充足度を評 価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看 護小規模多機能型居宅介護では、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		したものになるよう取り組んでいる。					効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				・自己評価の通り。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
	② 看護職から介護職への情報提供および提案	[具体的な状況・取組内容] 行われている。専門性を尊重しつつ、今現在のお客様への最善な支援について常に報告・連絡・相談をしている。					
21	○ 看護職から介護職に対して、疾	○				・自己評価の通り。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 行っている。看護師の予後予測から、今後起こり得る変化に速やかに対応できるよう準備や体制を整えている。					職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・自己評価の通り。サービスの特徴を分かりやすく記載したパンフレットを活用している。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよ そ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				・自己評価の通り。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 行っている。特にプラン更新時は詳しく説明するよう努めている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				・自己評価の通り。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 行っている。ケアなどの方法について問い合わせがあった際は、ご自宅を訪問しケアの方法をレクチャーすることも何度かあった。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表	○				・自己評価の通り。	✓ 「サービス提供への適切な反映」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	示ができない場合は家族等) の希望や意向を把握し、サービ スの提供に反映している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 行っている。ご本人様のご意向を第一に、特に モニタリング時には確認するようにしている。					いて、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検 討すべき状況を予め想定し、そ の際の対応方針等について、 利用者等と相談・共有すること ができています	○				・自己評価の通り。ご本人様の 視点に立ち、その時のベスト、ベ ターである選択ができるよう努め ている。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想 定した上での、対応策の検討と共 有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者 等に適切な時期を見計らって、	○				・自己評価の通り。 <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 平成 30 年に 1 件看取りを行い実施したが、そ	✓ 「予後および死までの経過の説明」と 「記録の有無」の 2 つの視点から、充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	の後はなし。ニーズの応えられるよう、準備をしておく必要あり。					<p>足度を評価します</p> <p>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</p>
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○				<p>・自己評価の通り。退院後の一時的な生活の場としてのご利用も一定数あった。</p>	<p>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
③ 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる		○			・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
④ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時		○			・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	に即座に対応が可能な体制が構築されている	<p>どにおいては病状により、緊急時の受け入れや往診対応下さるケースもあり。それ以外のお客様は、救急当番医受診や救急車要請の対応となる。</p>					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	<p>○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている</p>	○				<p>・自己評価の通り。地域サポートセンターとともにの中に事業所があるという長所を存分に活かし、今後ともお客様が地域住民と交流を図る機会を多く持ちたい。</p>	<p>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っているなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
							<p>合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町 会長などの住民代表も対象です</p>
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				<p>・自己評価の通り。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 事業所内でいつでも誰でも閲覧可能。職員については毎回、議事・会議録を回覧している。</p>	<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民	○				<p>・自己評価の通り。ポスターを作成し事業所入口に掲示した。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 作成したパンフレットなどを上手に活用しながら</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	向けの積極的な啓発活動が行 われている	ら、複合型サービスの周知に引き続き取り組ん でいきたい。					説明会の実施」などの取組が考えら れます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とし た活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対 象とした訪問看護を積極的に 実施している	○				・自己評価の通り。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併 せて受けている事業所」のみが対象で す。該当しない場合は、実施状況欄 は無記入で、[具体的な状況・取組 内容]欄に「指定なし」と記入してくだ さい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
							<p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできてい</p> <p>る」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	<p>○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている</p>		○			<p>・自己評価の通り。日中に限定されるが、体制が整っているのであれば「できている」にチェックを入れてもよいのではないかとご意見いただく。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできてい</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
							る」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○「人工呼吸器」を必要とする要 介護者を受け入れることができ る体制が整っており、積極的に 受け入れている			○		・自己評価の通り。	<p>✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
37		○					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	○ 「看取り支援」を必要とする要 介護者を受け入れることができ る体制が整っており、積極的に 受け入れている					・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足 度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っ ていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできてい る」は、その「積極性」の視点から、充 足度を評価します
<p>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</p> <p>① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解</p>							
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げ ている、地域包括ケアシステム	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足 度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっ
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>お客様・ご家族様のご意向を確認しつつ、ご自 宅や事業所で医療体制が取れるよう準備して いる。</p>					
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>理解している。今後も複合型サービスの周知や</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	の構築方針や計画の内容等について理解している	最新の介護保険情報の収集に努めたいと考えている。					ては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがいない場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				・自己評価の通り。引き続き、ご相談いただいたケースについては、どのようにすればお受入れできるか前向きに検討していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		ご協力もいただきご利用いただいているケースも ある。					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の 関係者に対し、必要に応じて 課題提起や改善策の提案等 が行われている	○				・自己評価の通り。	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>地域住民やサービスご利用検討者からの様々な問い合わせなどに対し、地域の介護保険内・外のサービスについて紹介するなど、地域の相談窓口として機能するよう努めている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
							<p>除外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	<p>○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている</p>	○				<p>・自己評価の通り。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ご家族様などから介助方法などについて問い合わせがある際は、電話やご自宅へ出向き助言対応することがあった。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
						<p>全員の介護力を最大限に高めること により、在宅での療養生活を支えてい くための環境を整えていくなどの役割 も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合 は、「全くできていない」</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者 ごとの計画目標が達成されてい	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されてい る</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されて いる</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されて</p>	・自己評価の通り。	✓ 「計画目標の達成」について、評価しま す

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	る	<p>いる</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ほぼ達成されている。</p>		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	<p>○ サービスの導入により、利用者 およびその家族等において、医 療が必要な状況下においての 在宅での療養生活の継続に対 し、安心感が得られている</p>	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されてい る</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されて いる</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されて いる</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ほぼ達成されている。</p>	・自己評価の通り。	<p>✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者 およびその家族等に対し、サービスの提 供により実現された「医療が必要な状 況下においての、在宅での療養生活の 継続に対する安心感」について、評価し ます</p>
44	<p>○ サービスの導入により、在宅での 看取りを希望する利用者およ</p>	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されてい る</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されて いる</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されて</p>	・自己評価の通り。	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およ びその家族等に対し、サービスの提供に</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	びその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	いる 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ほぼ達成されている。		より実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」